

第6回 離島医療福祉研究会

日時 2018年9月19日(水)

場所 香川大学経済学部又信記念館第3会議室

これまでの研究会を通じて、瀬戸内離島の仕事に携わっている方々や調査研究を行っている方々から、それぞれが把握している離島の状況を報告していただき、大まかな離島の現状を把握した。

今回から本会自身の手で島民の意見を収集することにより、現実に即した離島の状況や要望を拾い上げることにしている。方法としてはアンケートや訪問調査により行うことにしており、今年度にまず2島(男木島、広島を予定)で予備調査を行ってみることにした。その結果をみて、以降、調査を各島に広げることにした。



そこで、まず実際に離島医療に携わっている医師の香川県小豆保健所長岩井敏恭先生に豊島を中心に先生が行っている離島医療の状況や先生の離島医療に対するお考えを紹介していただいた。

その上で、準備してきたアンケート案について協議した。

- ・島民の要望を聞くというより、現状を教えてもらうといった質問が望ましい
- ・島は高齢者が多いので質問数をもっと減らした方が良い

などの意見が出た。これらの意見をもとにアンケート案を見直し、次回の委員会で協議することにした。